

# Business News

## 第13号

三井住友海上経営サポートセンターでは、会員企業の経営者の皆さまから各種経営相談をお受けしています。また、Business News を定期的にお届けして皆さまに各種経営情報をご提供いたします。今回は、『がんばれ中小運送会社』のコラムを掲載します。長年物流業向けに経営アドバイスを実施してきた当センターの小山 雅敬（現 法人営業推進部長兼法人開発室長）が実際に直面した事例を中心に、中小運送業経営者に向けた応援歌のつもりで執筆したものです。運送業以外の経営者の方にもご一読いただければと思います。

### “連載”「がんばれ中小運送会社」～「元気がある若手経営者達」

北陸に元気の良い若手経営者のグループがある。全員20～30代と若く、二代目社長もいれば、創業したばかりのベンチャー精神旺盛な若者もいる。中心になっているのは、SE出身でシステムに強いソフトウェア会社の社長である。他にトラックを30両程度保有している企業、倉庫を所有し保管業務に長けた企業など、特徴のある会社が集まっている。社長たちは皆、「これからの物流を担うのは荷主に最適な提案ができる会社だけだ。」との考えで共感しており、小規模でも連携してトライしてみよう、と集まって研究している。

まず、得意分野からスタートしようと決め、食品の保管、商品管理、配送までの一括請負を物流サービスとして商品名をつけて標準化する試みを始めた。物流システムの構築は若いソフトウェア社長が担当し、保管、管理、配送の分野は他の会社が知恵を出しあった。

ある程度構想がまとまったところで、荷主一社に提案してみたところ、興味は示すものの本気で採用する気はないようであった。理由を聞くと、「1社でもドライバーにより良し悪しのばらつきがあるのに、寄り合い所帯で本当に大丈夫なのか。机上で考えたことと実際とは違うのでは。」とのことであった。社長たちはさらに話し合っ、荷主の不安を解消するには統一した人材教育と責任体制の一本化が必要と判断した。

そこで、各社から本プロジェクトを担当するドライバーや倉庫要員を数名づつ出し、集合研修をすることにした。簡単なマニュアルを作り、挨拶から荷扱いの手順まで徹底して教え込むことにした。また、**責任体制を明確にするため、各社の社内規定を統一する試みを行なった。**具体的には、**服務規律や賞罰、勤務条件に至るまで可能な限り、統一することを検討した。**新しい会社を共同で作るのであれば、ことは簡単だが、各社とも余剰人員がない中で既存荷主の仕事に穴をあけられないため、限られた人数を兼務でこなす体制にせざるを得なかった。将来は協同組合をつくることも視野に入れているが、当分の間は個社の連携方式を試しながら、ノウハウを積み上げる予定である。

うまくいくのか失敗に終わるのか、は判らないが、若い力の夢のある活動にエールを送りたい。

（三井住友海上経営サポートセンター 小山 雅敬）

Business Newsは、Eメール発信に移行しましたので、未登録の会員の方は、FAXまたはEメールで配信先アドレスをご登録ください。

経営サポートセンター（[keiei\\_support@ms-ins.com](mailto:keiei_support@ms-ins.com)）宛Eメールで「氏名・会社名」をお送りいただければ、正確なアドレス登録ができます。FAXの場合は、下欄にご記入のうえ 03-3259-7402 にお送り願います。

会社名・役職		お名前	様
電話・ファックス	TEL - -	FAX - -	
Eメールアドレス メール配信先 のご登録			

ご記入頂いたお客様の情報は、弊社セミナーのご案内や情報提供するために利用させていただきますので、ご了承ください。

このニュースは三井住友海上経営サポートセンターの会員様に発信しております。 Eメール：[keiei\\_support@ms-ins.com](mailto:keiei_support@ms-ins.com)

三井住友海上火災保険(株) 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-9 TEL03-3259-6721 / FAX03-3259-7402